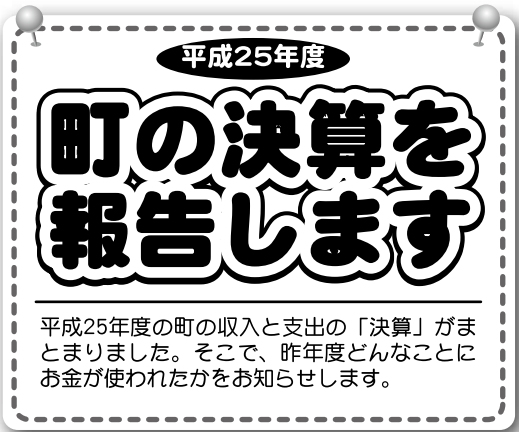




町の会計は、町民サービスの基本となる「一般会計」と特定の事業を行う「特別会計」に分かれています。ここでは一般会計について説明します。（特別会計については13 ページ参照）

前年度の決算とどう変わったの？

収入・支出決算の比較表を見てみると、収入については自主財源の大部分を占める町税において、人口増に伴う納税義務者数の増や収納対策強化による町民税の増、家屋の新築増による固定資産税の増等により、町税全体で見ると前年度に比べ3.2%（1億856万円）の増となりました。また、国・県からの支出金は、沖縄振興特別推進交付金及び沖縄振興公共投資交付金の増、介護給付・訓練等給付事業の事業費の増に伴う国・県負担金の増等により前年度に比べ13.7%（5億1,343

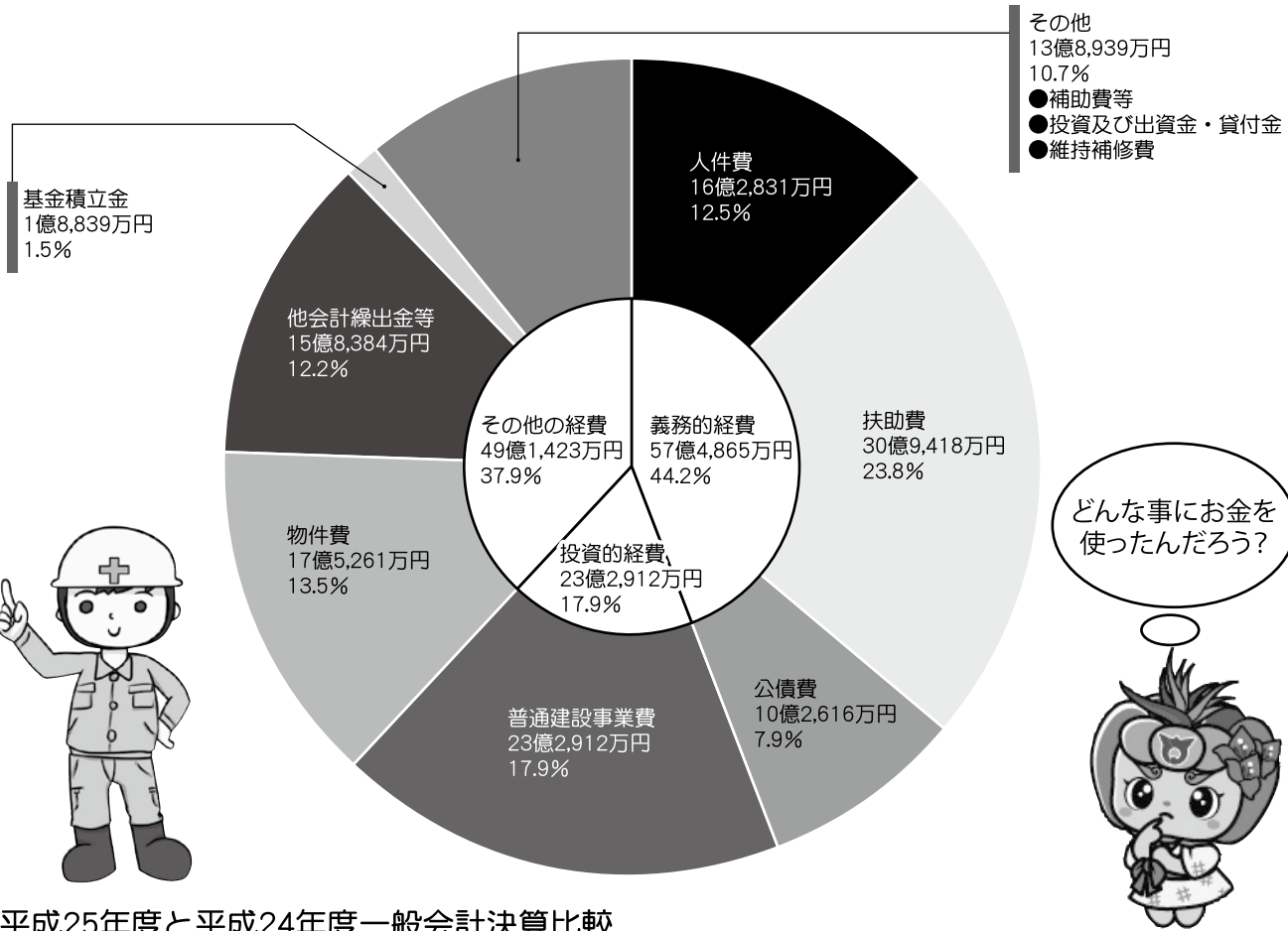
万円）の増となっています。地方交付税については、普通交付税において、平成24年度に過年度誤り分が措置された影響で、前年度比13.6%（3億6,390万円）の大幅減となっています。次に支出については、人件費が職員給与及び嘱託員報酬の増により3.0%（4,706万円）の増、扶助費が認可保育園運営費補助金、介護給付・訓練等給付事業の増等により4.4%（1億3,091万円）の増、普通建設事業費が黄金森公園整備事業やウガンヌ前公園整備事業、新規事業の北丘小学校大規模改造事業等の増により23.2%（4億3,912万円）の増となりました。また、物件費においては、県内初となる証明書自動交付機及びコンビニ交付システム構築委託料や沖縄振興特別推進交付金を活用した黄金森公園スポーツ施設活性化事業等の増により10.0%（1億5,946万円）の増となりました。

平成25年度も一般会計では黒字決算になりましたが、平成20年度決算より赤字決算になっている国民健康保険特別会計の影響で連結決算で赤字となっています。また、毎年増加傾向にある扶助費をはじめ、各特別会計への繰出金の増加や沖縄振興特別推進交付金を活用した事業等、必要な事業に対応するために、引き続き「安定的な財政運営」に努めていきます。

今後とも町民の皆様の町財政へのご理解とご協力をお願い致します。

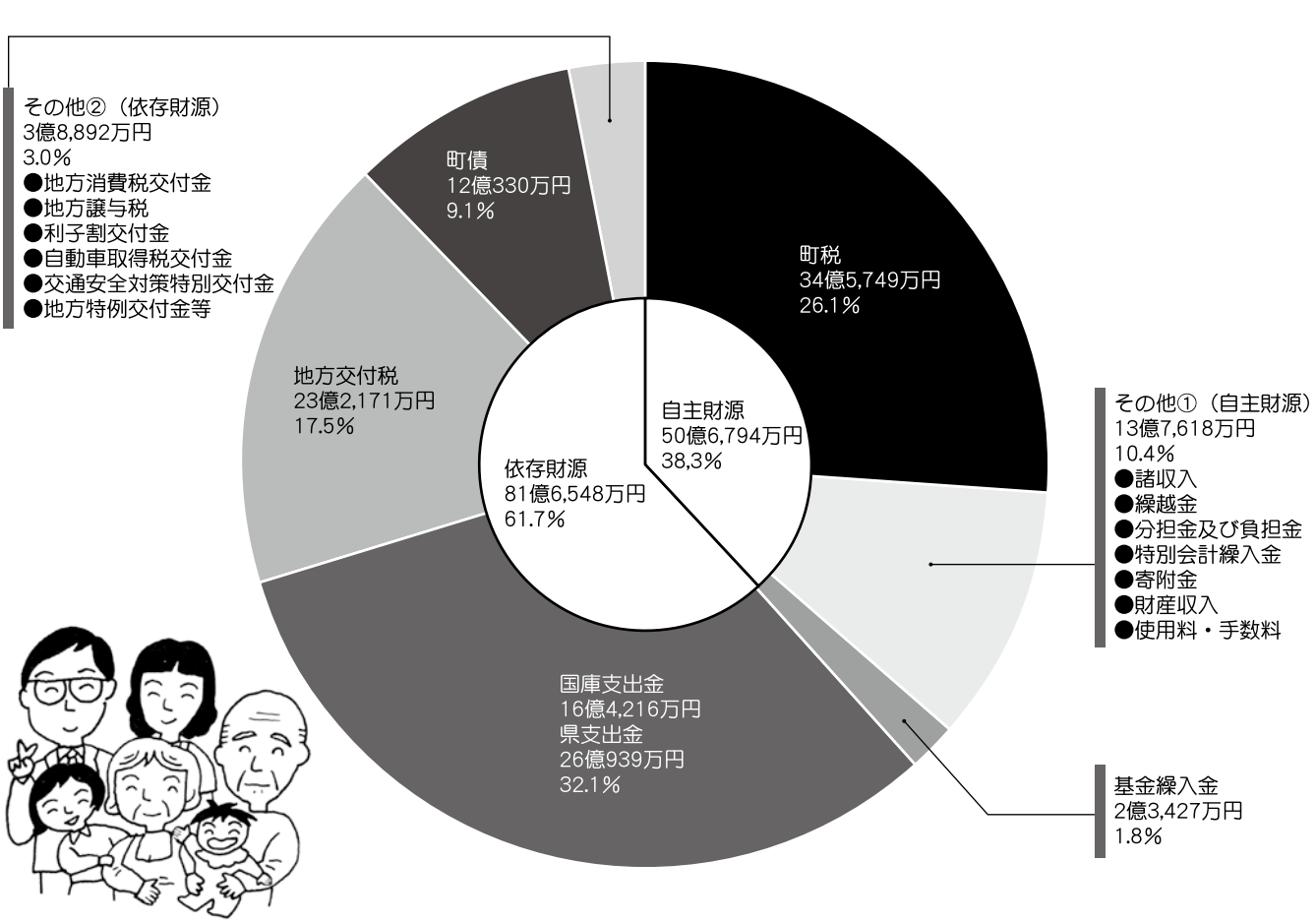
町が使ったお金（一般会計支出）

129億9,200万円



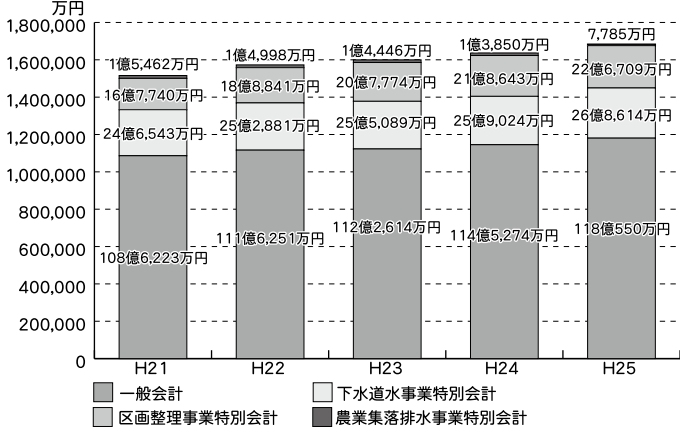
町に入ってきたお金（一般会計収入）

132億3,342万円



●平成25年度と平成24年度一般会計決算比較

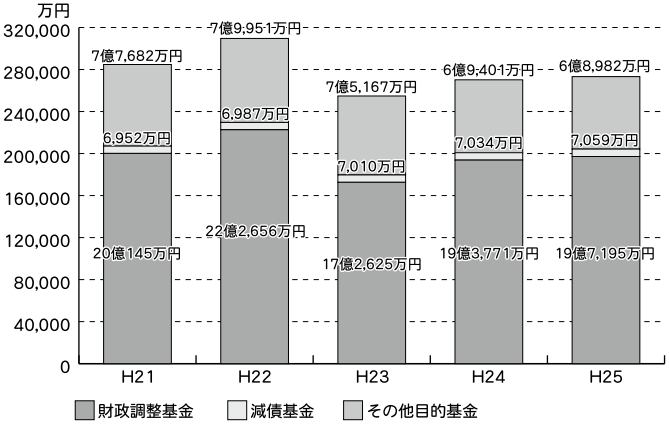
【町債(町の借金)残高の状況】



【支出・性質別】

項目	H25決算額	H24決算額	前年比 (%)
人件費	162,831	158,125	3.0
扶助費	309,418	296,327	4.4
公債費	102,616	96,585	6.2
普通建設事業費	232,912	189,000	23.2
物件費	175,261	159,315	10.0
他会計繰出金	158,384	155,800	1.7
基金積立金	18,839	22,987	▲18.0
その他	138,939	117,500	18.2
歳入合計	1,299,200	1,195,639	8.7

【基金残高の状況】



【収入】

項目	H25決算額	H24決算額	前年比 (%)
町税	345,749	334,893	3.2
その他① (自主財源)	137,618	109,859	25.3
基金繰入金	23,427	11,248	108.3
国・県支出金	425,155	373,812	13.7
地方交付税	232,171	268,561	▲13.6
町債	120,330	100,920	19.2
その他② (依存財源)	38,892	39,435	▲1.4
歳入合計	1,323,342	1,238,728	6.8